

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

パーキンソン病における精神病症状の発生率および抗精神病薬の処方実態に関するカルテ調査

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院第一精神診療部 第二精神科医長 野田 隆政

【本研究の目的及び意義】

パーキンソン病(Parkinson disease:以下PD)は、神経疾患の一つですが、その患者さんの30～40%に幻覚や妄想といった精神病症状が現れるとされています。幻覚や妄想といった症状が出現すると、患者さん本人の生活の質や、その支援者・介護者の方の負担感や苦痛が増加するということが報告されています。こうした患者さんには、抗精神病薬という精神科で処方されるお薬での治療が行われますが、用量に関しては、はっきりとした推奨量が示されていません。そこで、まずは精神病症状の治療として、どういったお薬が選択され、どの程度の量のお薬が処方されているのかという実態を明らかにするための調査を行うこととしました。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2017年9月1日より2018年12月末日までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科を受診されたパーキンソン病／パーキンソン症候群の治療を受けていらっしゃる方

利用する試料・情報等

情報等:診療録

(年齢、性別、診断名、精神病症状の有無、精神病症状の治療に使われている薬剤と処方量)

研究期間

2018年11月29日より2021年3月末日まで

2018年12月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 病院  
所属 第一精神診療部 氏名 野田 隆政  
電話番号 042-341-2711(代)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局  
e-mail:ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)